

# よくある不備について

## クリアファイルのかさまーと 入稿データ作成ガイド

- ▶ 白版が特色「White」の設定になっていない ..... 1
- ▶ 白版に特色「White」以外の色を使用したオブジェクトが入っている ..... 2
- ▶ 白版のサイズがカラー版より0.1mm内側もしくは外側の設定になっていない ..... 3
- ▶ 白く表現したい部分だけに白版データがある ..... 4
- ▶ フォトショップで白版作成する際、白の濃度が100%になっていない ..... 6
- ▶ カラーデータに特色を使用している ..... 7
- ▶ ヘアライン(印刷されない線)がある ..... 8
- ▶ 文字のアウトラインがかかっていない ..... 8
- ▶ 塗り足しがない、仕上がり位置で文字等が切れてしまう ..... 9
- ▶ 溶着部分に文字等がかかっている ..... 9
- ▶ センターがズれている ..... 10
- ▶ 画像の解像度が低い ..... 10

▶ 画像にプロファイルが埋め込まれている ..... 10

▶ 色の濃度にばらつきがある ..... 11

▶ オーバープリント(K100%のスミノセ)について ..... 12

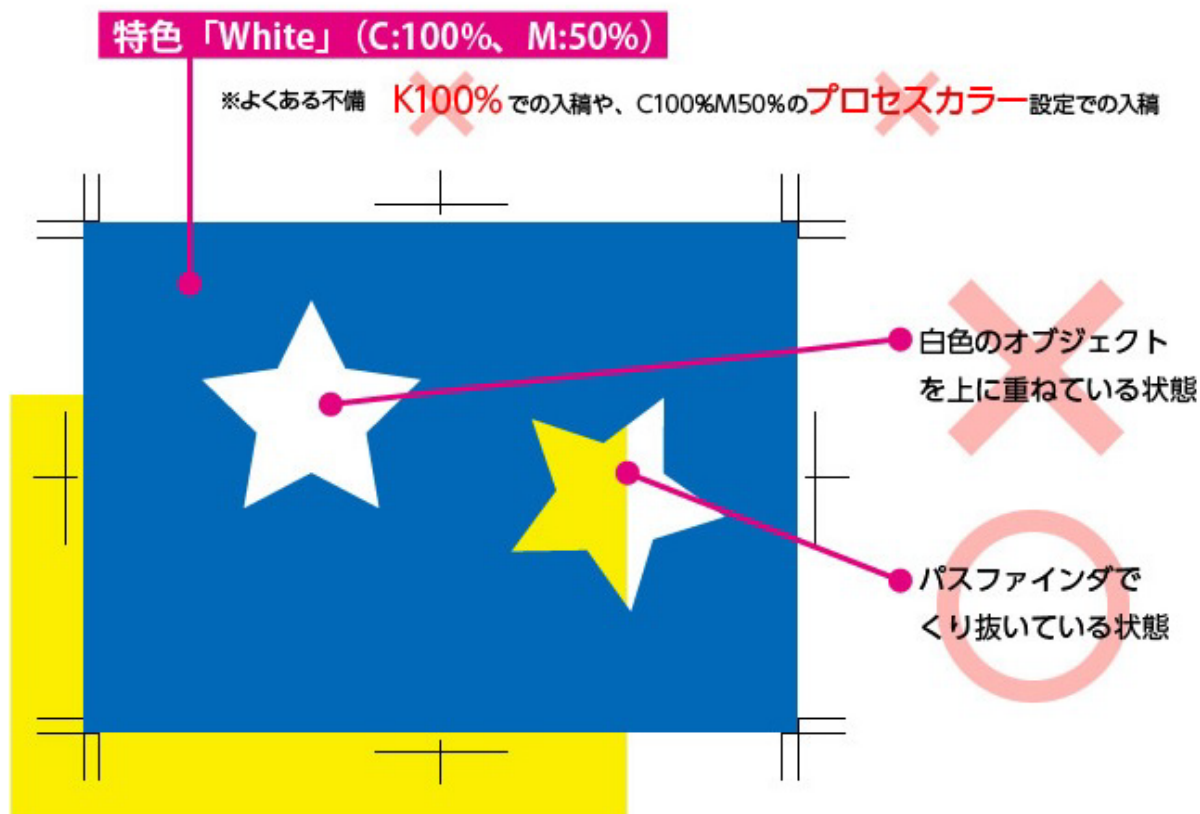
▶ EPS形式での入稿や、PDF/X-4ではないPDF形式データでの入稿 .... 13

▶ 白版データのご指示がなく、白版データの入稿がない ..... 14

## ■白版が特色「White」の設定になっていない

白版の色設定は、イラストレーターの場合はC100%・M50%の特色「White」の塗り設定をお願いしております。テンプレートデータ内のスウォッチにご用意しておりますので、こちらをご利用ください。フォトショップの場合はC100%・M50%のダブルトーン「White」をお願いいたします。

白版のデータ内に特色「White」以外の色を使用したオブジェクトが残っていると、データ処理の際にトラブルになってしまいます。線、塗り共に特色「White」設定以外のオブジェクトがないか、ご確認ください。

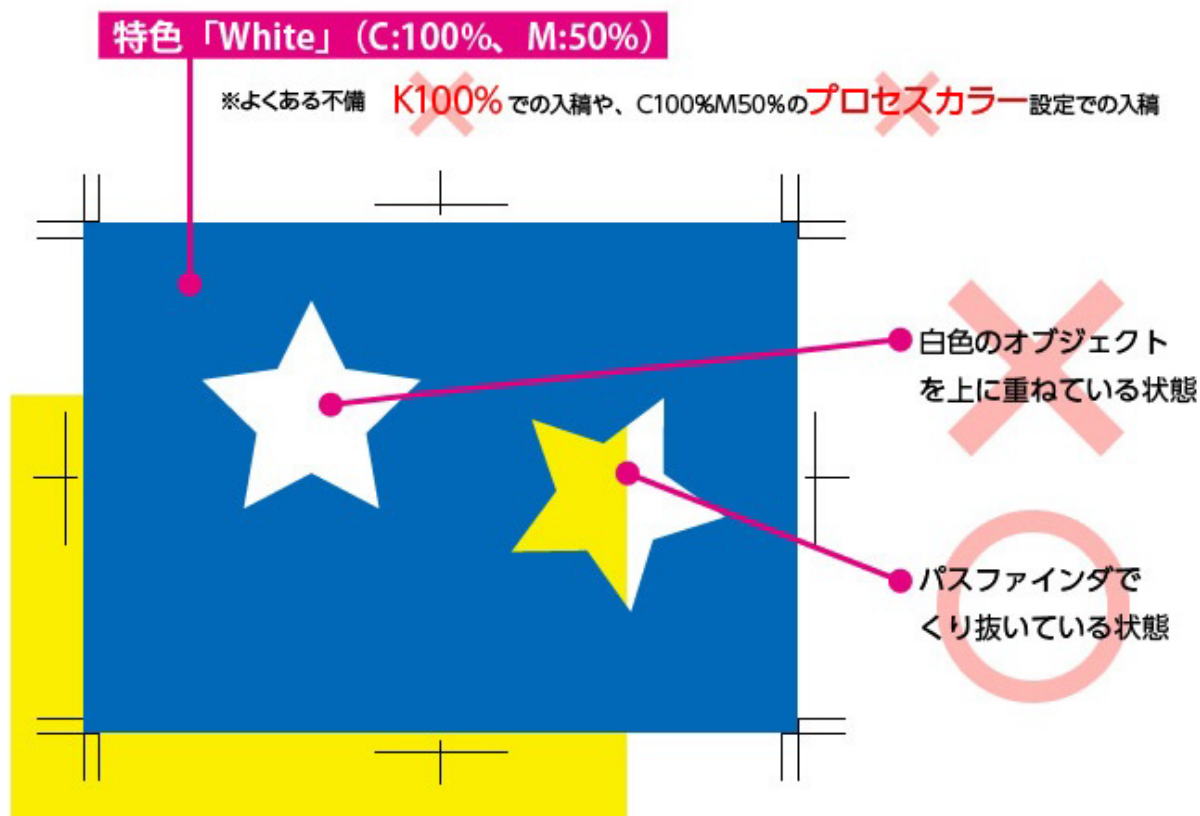


※分かりやすいように白版の下に黄色い紙を敷いた状態にしています

## ■白版に特色「White」以外の色を使用したオブジェクトが入っている

白版の色設定は、C100%・M50%の特色「White」の塗り設定をお願いしております。イラストレーターのテンプレートのスウォッチにご用意しておりますので、こちらをご利用ください。

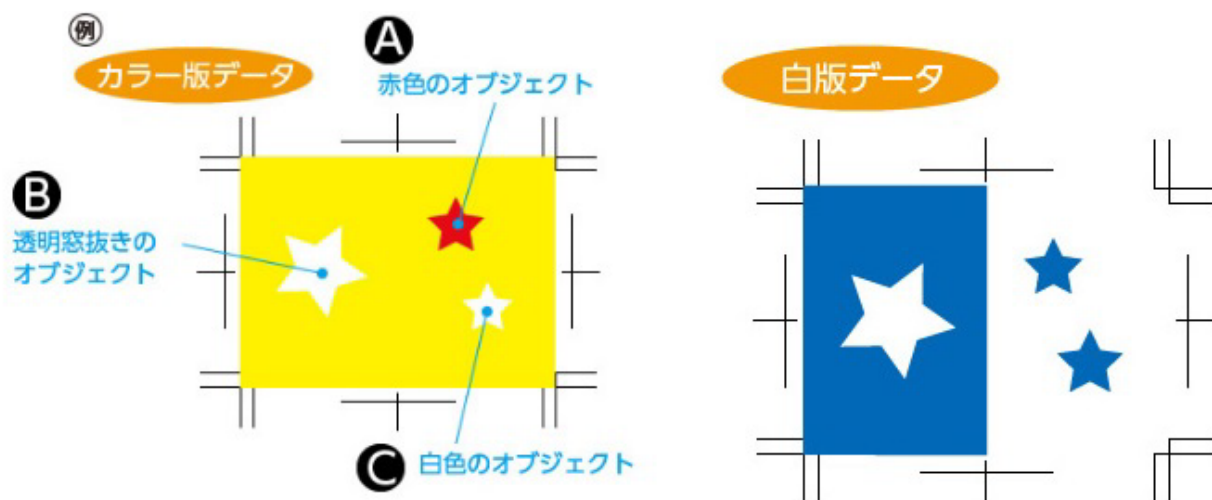
白版のデータ内に特色「White」以外の色を使用したオブジェクトが残っていると、データ処理の際にトラブルになってしまいます。線、塗り共に特色「White」設定以外のオブジェクトがないか、ご確認ください。



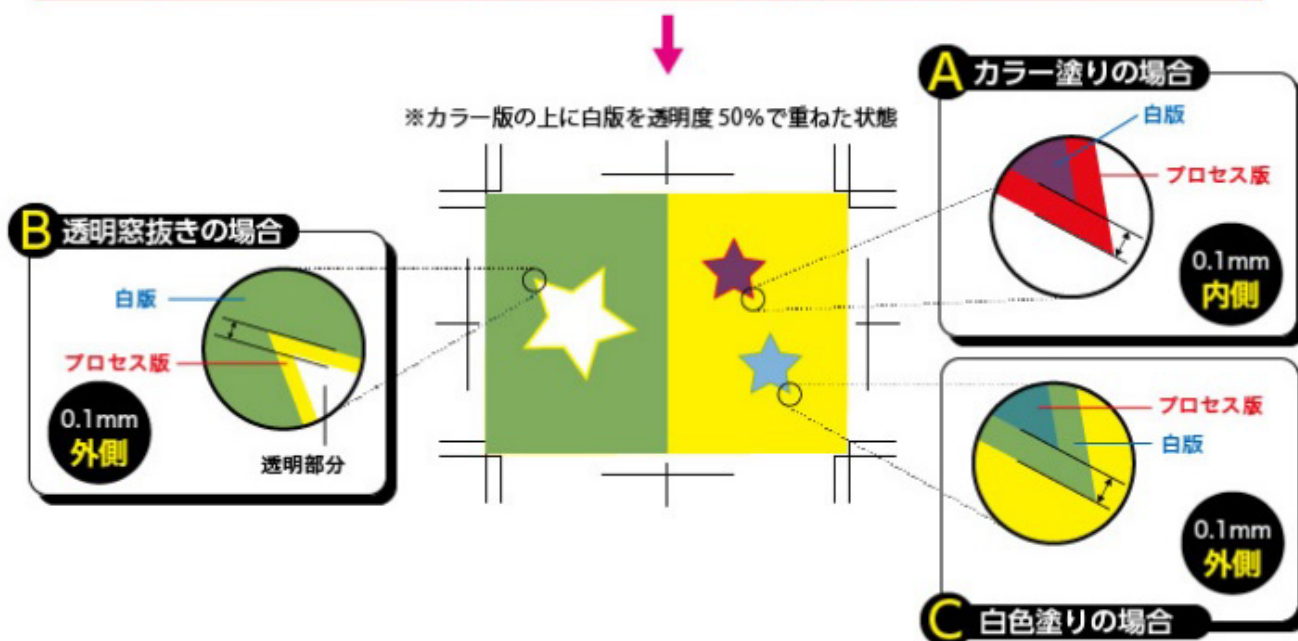
※分かりやすいように白版の下に黄色い紙を敷いた状態にしています

## ■白版のサイズがカラー版より0.1mm内側もしくは外側の設定になっていない

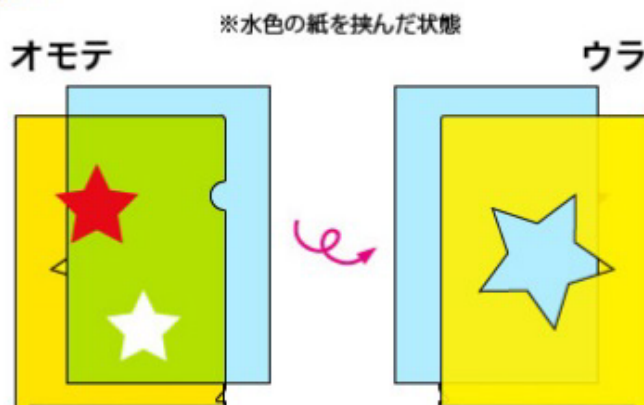
クリアファイルの原反（素材）は性質上、印刷時に若干の伸縮があります。そのため、このまま印刷するとカラー版よりも白版がはみ出してしまい、キレイな仕上がりになりません。それを防ぐために、カラー版データよりも白版のデータを0.1mm小さく、もしくは大きくする（オフセットする）ことで、伸縮が発生しても白版がはみ出ないようにします。



デザインによって白版のオフセットの内側・外側が異なります！







仕上がりイメージ



## ■ 白く表現したい部分だけに白版データがある

### 部分的白版 よくあるデータ作成間違い・その1





白く表現したい部分だけに白版データがある

|   |   |   |  |
|---|---|---|--|
| カラーデータ  | 白版データ   | カラーデータと白版データを重ねたイメージ  |  <p>白版がない部分は書類を入れたときに半透明な仕上がりに…</p> |
|  |  |  |  |

このままでも印刷可能ですが、**白版がない部分は半透明な仕上がりと**なります。イラストや文字をはっきりと見せたい場合は、白版が必要です。



白版データ修正後

|   |   |   |  |
|---|---|---|--|
| カラーデータ  | 白版データ   | カラーデータと白版データを重ねたイメージ  |  <p>キャラクター部分は透けない仕上がりに！</p> |
|  |  |  |  |

書類を入れたときにキャラクターは透けないようにし、キャラクター背景だけ半透明な仕上がりにしたい場合は、上図のように、キャラクターの透けさせたくない部分に特色 White (C100%M50%)の色を適用してください。

次のページへつづく→

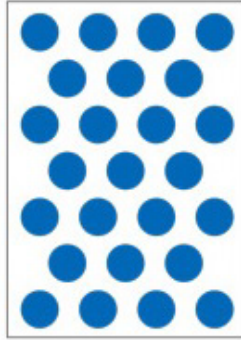
## 部分的白版 よくあるデータ作成間違い・その2

白く表現したい部分のカラーデータに、白いデザインがない

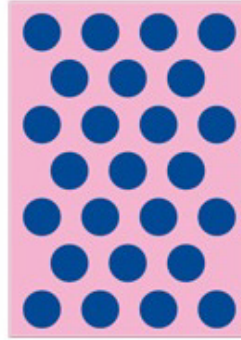
カラーデータ



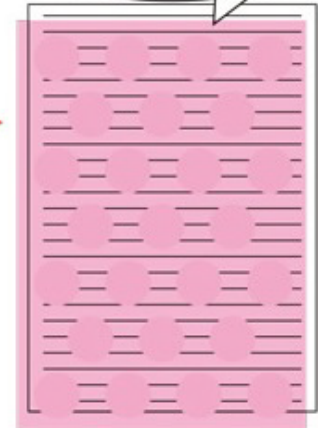
白版データ



カラーデータと白版データを重ねたイメージ



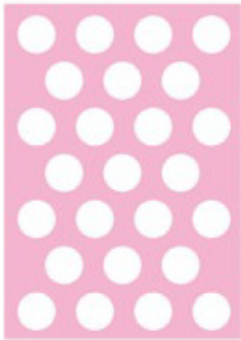
白版がある部分だけ透けない仕上がりに…



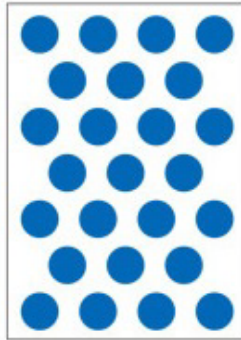
このままでも印刷可能ですが、ドットは白く表現されず、白版がある部分だけ透けない仕上がりととなります。

カラーデータ修正後

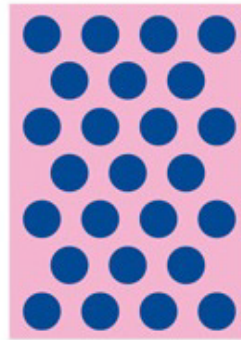
カラーデータ



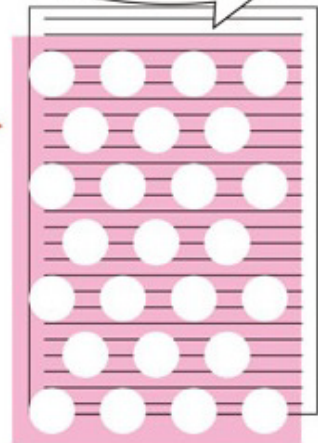
白版データ



カラーデータと白版データを重ねたイメージ



半透明なピンクと白いドット柄の仕上がりに！



白いドット + 背景は半透明な仕上がりにしたい場合は、上図のように、カラーデータは白（プロセスカラー CMYK0%）を使ってデザインを作成し、さらに白版データで白くしたい部分に特色 White (C100%M50%) の色を適用してください。

## ■ フォトショップで白版作成する際、白の濃度が100%になっていない

フォトショップで白版を作成した際、白の濃度が意図せずに100%になっていない場合があります。これはグレースケールにした段階で濃度が100%になっておらず、そのままダブルトーンにしたため発生するものです。濃度が低ければ、その分白は薄くなってしまいます。濃度が低い場合は、Photoshop のトーンカーブで上げてください。

### ■ Photoshop での白版作成方法

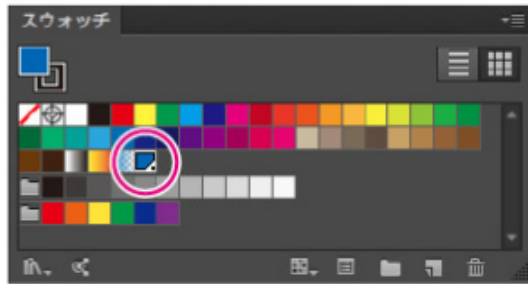
- ①原寸サイズで画像解像度を 350dpi に設定してください。
- ②パスを選択して、「選択範囲」→「選択範囲を変更」→「縮小」で選択範囲を 2pixel 縮小すると、約「-0.1mm」になります。
- ③メニュー「イメージ」→「カラーモード」→「グレースケール」を選択し、Kのみで作成します。
- ④作成後、メニューの「イメージ」→「モード」→「ダブルトーン」を選択し、  
種類…ダブルトーン（1版）  
インキ色…C100M50  
名前…White  
の設定にして PSD もしくは PDF/X-4 にて保存してください。




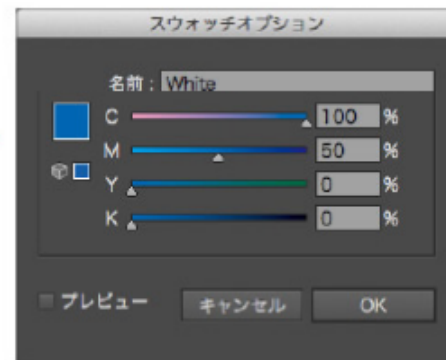
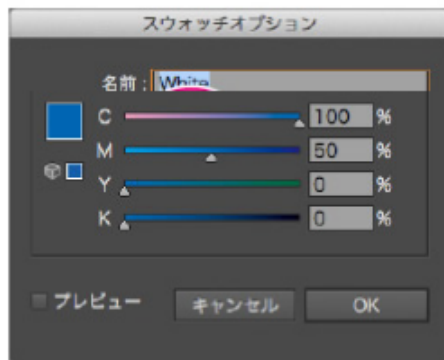
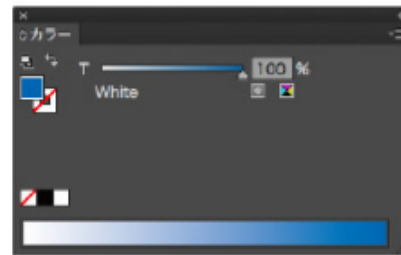
## ■カラーデータに特色を使用している

カラーデータに関しては、特色(スポットカラー)を使用しないでください。必ずプロセスカラーに分解して入稿してください。特色を使用している場合、スウォッチウィンドウに特色のスウォッチが表示されます。特色を解除する場合は、スウォッチオプションを開き、カラータイプを「特色」から「プロセスカラー」に変更してください。

この処理により、特色から一番近いとされるプロセスカラーに分解されるのですが、「特色」と同じ色になるわけではありません。プロセスカラーで表現できない色が「特色」ですので、どうしても特色印刷でないといけない、という場合はご相談ください。しかしその場合、提示している価格表よりもお値段がかなり上がってしまいます。



 カラーの右下に白い三角と黒い点がある状態が特色（スポットカラー）です



## ■ヘアライン（印刷されない線）がある

ヘアラインとは、ここではいわゆる「印刷できない線」を指します。パスで作成された線の色を塗りの設定で指定すると、画面上やプリンタで出力した場合には表現されますが、実際に印刷すると非常に細くなり、見えなくなってしまうためトラブルの原因となります。線の色を設定する場合は、必ず線の設定で色を指定してください。データチェック対象外となります。



## ■文字のアウトラインがかかっていない

すべての文字（フォント）にアウトライン処理を行なってください。アウトライン処理をしないと別のパソコンで開いた際、初期設定されているフォントや、近いタイプの別のフォントに置き換わってしまいます。

アウトライン処理とは、テキストデータを図形化(パス化)することで、フォントが無い別のパソコンで開いてもそのままの形で表示することができます。

### ■アウトライン化されていない文字

KASAM@RT



### ■別のパソコンで開くと 違うフォントに置き換わります

KASAM@RT

### ■アウトライン化されていない文字

KASAM@RT



### ■アウトライン化された文字

KASAM@RT

### ■ アウトライン処理の方法

- ①レイヤーのロックをすべて外します。
- ②メニュー「オブジェクト」→「すべてをロック解除」を選択します。
- ③メニュー「選択」→「すべてを選択」を選択します。
- ④メニュー「書式」→「アウトラインを作成」を選択します。

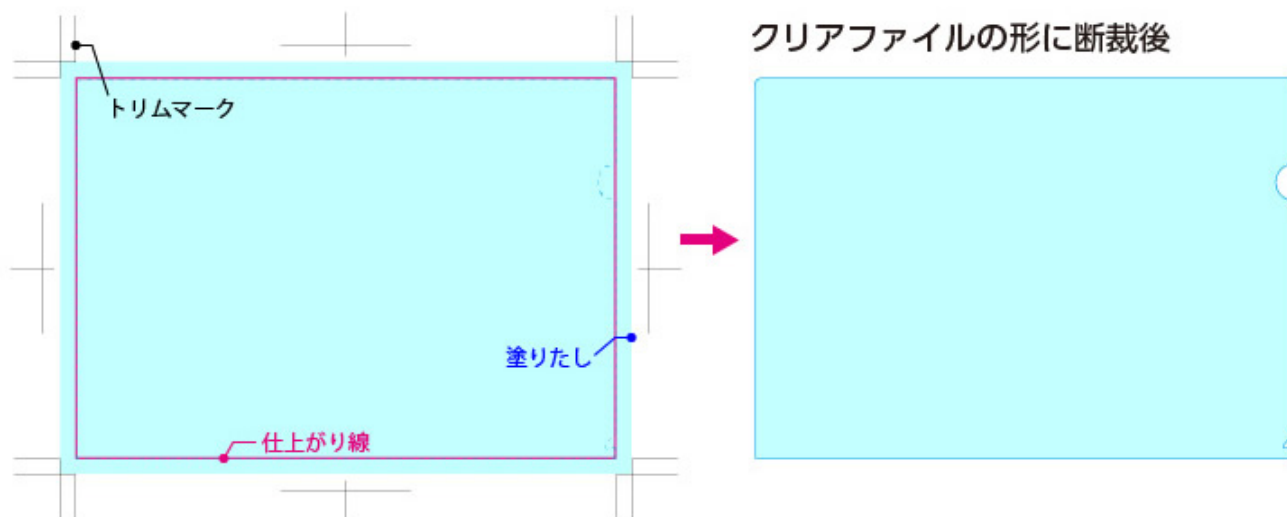
すべての文字がパス化されます。

**注）** アウトライン化された文字は、内容を編集できなくなりますので、アウトライン化前のデータを別名保存しておくことをおすすめいたします。

## ■ トンボ（トリムマーク）と塗り足しについて

トンボ（トリムマーク）は印刷物の仕上がり位置と塗り足し部分を指定する為に必要な線です。塗り足しがないと、仕上がりサイズに断裁する時に生じるわずかなズレによって、絵柄が途切れてしまいます。それを防ぐために塗りたしを3mm以上付けていただく必要があります。弊社のクリアファイル各種プレートデータには予めトンボがあります。トンボは4色のインキを順に重ねて刷り上げる際、各色版の位置を合わせるための役割も果たしています。

また仕上がり位置ギリギリに切れてはいけない文字等を配置すると、こちらも仕上がりサイズに断裁するときに生じるわずかなズレによって、切れてしまう可能性があります。それを防ぐ為に文字等は仕上がり位置より3mm以上内側に配置してください。



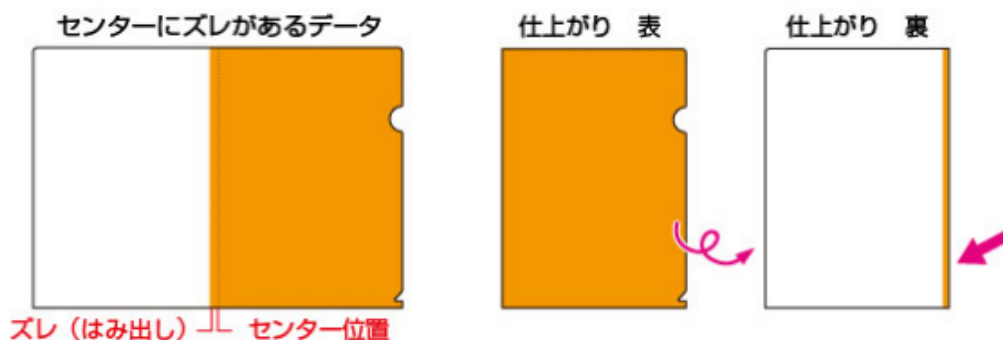
## ■ 溶着部分に文字等がかかっている

クリアファイル下部の溶着部分に印刷をすることは可能ですが、文字等を配置すると非常に見えにくくなってしまうため、見せたい文字などのデザインがかからないようにしてください。



## ■センターの折りズレについて

クリアファイルのセンター折り目の部分よりデザインがはみ出していると、製品になった際に表面のデザインが裏面へ回り込んでしまうなどキレイな仕上がりになりません。表と裏でデザインが分かれているものは、センターのズレにご注意ください。データチェック対象外となります。



## ■画像の解像度が低い

画像は適切なサイズにしてください。画像解像度とは、一つの画像をどれだけの数の点で表現するか、画像のきめ細やかさを表す数値です。原寸サイズで300~350dpiにしてください。線画は2階調モードで原寸サイズ、1200dpi。これ以上解像度をあげても印刷の仕上がりは変わりません。72dpiはWeb用の表示で、パソコンのディスプレイではきれいに見えますが、印刷するとカクカクして見えます。また、必ずCMYKに変換してください。プロファイルは埋め込まないでください。



## ■画像にプロファイルが埋め込まれている

画像を配置する場合、必ずCMYKで作成し、プロファイルを埋め込まないでください。

## ■色の濃度にはらつきがある

---

例えば同じ黒でも、K100%の黒とCMYK混在の黒(例：C80,M80,Y:80,K100)ではCMYK混在の黒の方が濃度が濃く、同じ黒と言えど色の違いが出てしまいます。同じ色にしたい箇所は同じ濃度になるよう、注意して作成してください。



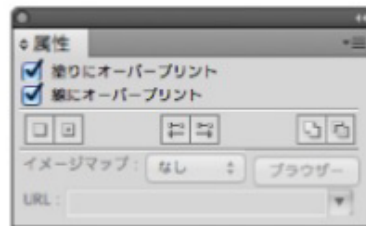
## ■オーバープリント（K100%のスミノセ）について

**！オーバープリントにご注意ください！**

### オーバープリントとは・・・

オーバープリントとは、色同士を重ねて印刷することです。例えば、背景色の上に黒いオブジェクト（や文字）を乗せた場合、周りに細い隙間が出ることがあります。

これは『見当ズレ』といって、色と色の間にわずかに隙間ができます。インキを重ねて印刷される際に、用紙がわずかに伸縮するため、下図のように隙間ができてしまいます。



オーバープリント設定の例

モニター



オーバープリント処理なし



印刷物



※見当ズレによる隙間が生じます

### K100%にはオーバープリント処理が適用されます

弊社では、K100%で作られたオブジェクトに対して、自動的にオーバープリントの処理がされます。こうすることで、見当ズレは防ぐことができますが一方で、色同士が重なることで、下に重なった色がうっすらと透けているように見えてしまいます。小さな文字などは目立ちにくいですが、ベタ面積の広い場合は目立ってしまいます。



オーバープリント処理あり（K100%）

ベタ面積の広いものは目立つ

### よくある失敗例

①人物の髪の毛など



C: 0%  
M: 0%  
Y: 0%  
K: 100%

②白フチ文字



C: 0%  
M: 0%  
Y: 0%  
K: 100%

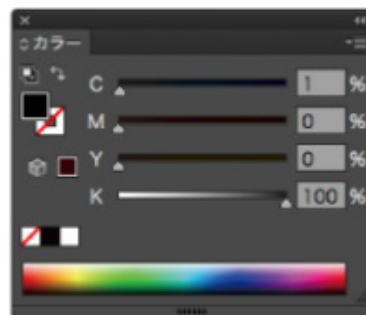
③写真の上の黒ベタ



C: 0%  
M: 0%  
Y: 0%  
K: 100%


### オーバープリントされないようにするには？

K100% にわずかに別の色（シアン 1% など）を加えて K100%（C0% M0% Y0%）の状態を回避してください。




## ■ EPS形式での入稿や、PDF/X-4ではないPDF形式データでの入稿

データの入稿形式は、PDF/X-4もしくはAI形式、PSD形式でお願いいたします。EPS形式のままでは製版に進むことができません。PDFの場合、プリセットは必ず「かさまーとPDFX4プリセット.joboptions」で書き出してください。※PDF/X-4で書き出す理由として、X-4では透明効果やレイヤー機能を使用でき、デザイン効果を最大限に発揮することができるためです。

 **イラストレーター  
(Adobe Illustrator)の場合** ■対応バージョン  
8.0J・9.02J・10J・CS・CS2・CS3・CS4・CS5・CS6・CC

■保存形式

『 ~.eps』  『 ~.ai』  『 ~.pdf(x-4)』  ※AdobePDFプリセットは「かさまーとPDFX4プリセット」を選択してください

 **フォトショップ  
(Adobe Photoshop)の場合** ■対応バージョン  
7.0・CS・CS2・CS3・CS4・CS5・CS6・CC

■保存形式

『 ~.eps』  『 ~.psd』  『 ~.pdf(x-4)』 

レイヤーを統合してから（レイヤーパレットメニューの「画像の統合」から行えます。）PDF保存してください。  
また、「カラープロファイルの埋め込み」のチェックを外してください。

— PDF の設定 —

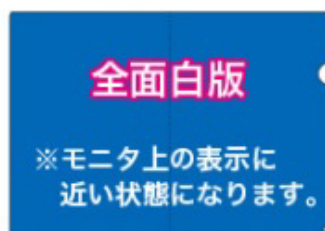
AdobePDFプリセット:「かさまーとPDFX4プリセット」を選択してください。  
PDF保存の際、「AdobePDFを保存ダイアログで選択した設定により、別名で保存ダイアログボックスの現在の設定が無視される場合があります。」という警告が出る場合がありますが、そのままOKを押してください。

## ■ 白版データのご指示がなく、白版データの入稿がない

白版の作成パターンは以下のAからEの5種類のいずれかになります。Eの部分的白版以外は、白版のデータ入稿は不要ですので、カラー版のみご入稿ください。

**!** 青色の部分に **白色** が印刷されます。

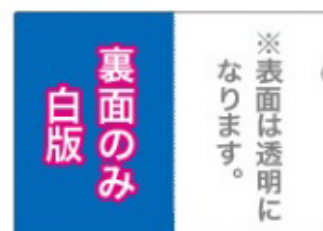
### ① 全面白版



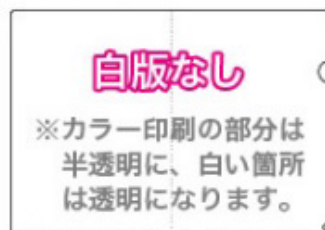
### ② 表面白版



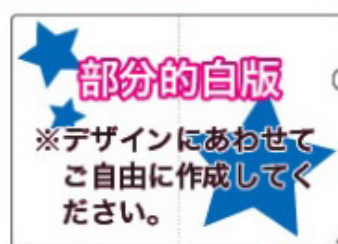
### ③ 裏面白版



### ④ 白版なし



### ⑤ 部分的白版



**!ご注意ください!**

部分的白版の場合は、お客様でデータ作成して頂く必要があります。

※表裏どちらかが片面白版、もう片面が部分的白版の組み合わせの場合も部分的白版に該当します。

以下の商品は白版印刷がありません。

各種ストーンファイル・プレミアムファイル (もこもこ・なごみ)・ストーンペーパー名刺・コースター・ランチョンマット・卓上カレンダー・壁掛けカレンダー